

2019年2月27日ウェブセミナー「内部監査部門のRPA対応～RPAを監査する。RPAを活用する。～」ご質問とプロティビティの回答

No.	頂いたご質問	Protiviti回答
1	RPAはすぐ使えるようになるのでしょうか？	使うこと自体はそれほど難しくないと思います。もちろん勉強は必要だとは思いますが、Protivitiでは新入社員含めてRPAツールのトレーニングを実施していますが、慣れてしまえばすぐに簡単なロボットは作成できるようになります。ただ、本日の説明した通り、ログやアクセス管理などの設計は必要になりますし、変更管理等のルールを作ってガバナンスを効かせるという点が重要になってきます。
2	RPAを監査するにあたり、ベンチマークとなる基準はありますか？	RPAに特化したベンチマークとして現時点で一般的に使われているものはないとの認識です。ただ、本日の説明でも触れましたが、IT部門の管理下におかれぬ情報システムという位置づけでEUCと捉えれば、FISCのシステム監査指針のEUCに関する項目を基準として活用することはできると思います。
3	資料のダウンロードはできないのですか？	恐れ入りますが、今回、資料の配布は予定しておりません。ご了承ください。
4	P14でご紹介頂いたリスクが企業で発現した事例はありますか？	はい、ございます。2つ目にご紹介したリスクの例(組織の目的に合わないロボットや使われないロボットが無秩序に構築される)については、弊社のRPA導入をサポートするチームにおいてお客様からお問い合わせを受けることも多いようです。
5	RPAの種類や属性によってリスクの種類や程度を類型化することは可能でしょうか。たとえばロボットがある閾値などによって何らかの判断をしている場合と、単に作業を自動化しているだけの場合ではリスクの重さや監査のやり方が異なるのではないかと考えられます。	システムリスクと同様に、例えばロボットの扱う情報の種類(例:機密情報、個人情報等)、業務プロセスの重要度(例:SOX対象、法規制対象等)、RPAが稼働する環境(例:クラウドorローカル)といった切り口で類型化し、リスクを定量的に測ることは可能だと考えます。
6	EUCとは何ですか？	End User Computingの略です。情報システム部門が管理できていない(業務部門が例えばパッケージソフトの購入やクラウドサービスの利用を情報システム部門を介さずに行い業務部門で管理している)システムを指します。
7	SOX対象の業務プロセスにおいてRPAが導入された場合には即、IT統制が必要になるのでしょうか？マニュアル統制で補完することはできないのでしょうか。	ご質問の「IT統制」について、RPA自体がシステムコントロール(RPA業務処理統制)になりますので、「RPA全般統制」が即座に必要なか？という質問と理解しました。SOXの評価においては、IT全般統制はIT業務処理統制の有効性を保証するための統制ですので、IT業務処理統制自体が有効であることを証明すればIT全般統制を評価する必要はないとも考えることができます。同様に考えれば、RPA業務処理統制がマニュアル統制で補完されていてキーコントロールではなかったり、RPA業務処理統制自体の有効性を評価できれば、RPA全般統制の評価が即座に必要なとは言いきれませんが、RPAの導入・維持・管理に対して全般統制が必要であることはウェブセミナーでお話した通りです。
8	RPAとCAATsの違いは何でしょうか。	CAATsは大量データの分析に活用されデータ全体のみ統計的な処理が可能ですが、RPAはデータ1件をどのように処理するかルール化を決め、そのルール通りに全件実行するだけだと考えればわかりやすいかと思います。
9	RPAとGRCは両立しますか。	GRCツールとの両立という意味だと理解しました。両立可能だと考えます。例えば、GRCツールへの情報の登録をExcelファイルから実施するようなケースでは、その作業が定型的でルール化できるものであれば、RPAによって登録を自動化できます。
10	RPAの活用の成否は、いかにして、現状業務を標準化することだと思いますが、監査員の意識改革も含め、どのようなステップで進めていくのが良いのでしょうか？まずはパイロット的にやるとか、小さな成功、改善事例から取り組むのが良いのでしょうか。	ウェブセミナー内でもご説明申し上げた通り、RPA導入のジャーニーに沿って、まずは概念実証(PoC)として小さく始める方が良いのではないかと考えます。ただ、社内にRPA導入を主導するような組織がある場合は、ノウハウが蓄積されている可能性もございますので、一定の範囲で大きく始めることもできるかもしれません。

2019年2月27日ウェブセミナー「内部監査部門のRPA対応～RPAを監査する。RPAを活用する。～」ご質問とプロティビティの回答

No.	頂いたご質問	Protiviti回答
11	RPAとはマクロの高度な機能と考えて良いのでしょうか。	そのように考えても差し支えないと思います。マクロではできない処理を実装することができます。
12	RPAの活用事例として紹介していただいた事例で導入していたRPAの導入のための費用はどれくらいだったのですか。	ご紹介した事例における弊社が実施したロボット作成PoCのご支援としては150～200万円程度となります。PoCですので、どの程度の効果があるかロボットを簡単に作成し動かした事例であることをご承知おきください。お客様にご用意いただくものとして、RPAツールのライセンス(トライアルのための無料ライセンスが用意されていることも多いです)とロボットを稼働させるためのPC等の環境が必要になります。RPA化の対象範囲でご支援にかかる費用は変わってきますので、詳細につきましてはお問い合わせください。
13	監査業務にRPAを導入した事例を実際処理している動画を見て理解したい。	RPAに関してはウェブセミナーだけではなくプライベートセミナーの開催も予定しております。その際、実際のデモをお見せすることは可能です。また、弊社担当者がお伺いしてお見せすることもできますので、是非お問い合わせください。
14	RPAのパフォーマンスのKPI/SLAにはどのようなものを採用すればよいでしょうか。	RPAのパフォーマンスのKPI/SLAの切り口は通常のシステム開発におけるそれと同じです。但し、その値を設定するレベルが違います。閾値を高くし過ぎるとシステム開発と同様のコスト、期間、難易度になってしまいますし、低くし過ぎるとコントロールが効かなくなります。その適切なレベルを設定することがRPA導入の勘所となります。詳細は弊社RPA導入チームがご説明可能ですので、お問い合わせください。
15	モニタリングは具体的にどのようなことを指しているのでしょうか。	通常の情報システムで行っているモニタリングと大きく変わりはありません。例えば、RPAの設定や処理内容の変更について言えば、その変更がルール通りに行われているか否かを証跡から確認することになりますし、RPA導入の効果が当初計画通りに出ているかという観点で確認することもあると考えられます。
16	本日のセミナー参加人数を教えてください	約250名の方々がご参加くださいました。